

令和4年度 第4回

竜禅寺小学校 学校運営協議会



5・6年生
建設の仕事体験講座
1月30日



入学説明会
2月3日

令和5年2月20日（月）15時00分～

浜松市立竜禅寺小学校

第4回竜禅寺小学校運営協議会

令和5年2月20日(月) 15:00~16:30 : 会議室

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会: 寺田、記録: 塩崎・佐々木>

1 始めの言葉

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長の選出

5 熟議 <議長: 倉重、記録: 塩崎・佐々木>

(1) 学校評価の結果、成果と課題 <松井>

(2) 来年度の学校運営の基本方針 <校長>

(3) 学校運営協議会の自己評価 <議長>

6 終わりの会 <司会: 寺田、記録: 塩崎・佐々木>

(1) 連絡事項

① 夢をはぐくむ学校づくり推進協議会 本年度の予算執行(教頭)

② 卒業証書授与式(教頭)

③ 来年度委員と任期、承諾書(教頭)

④ 来年度協議会計画

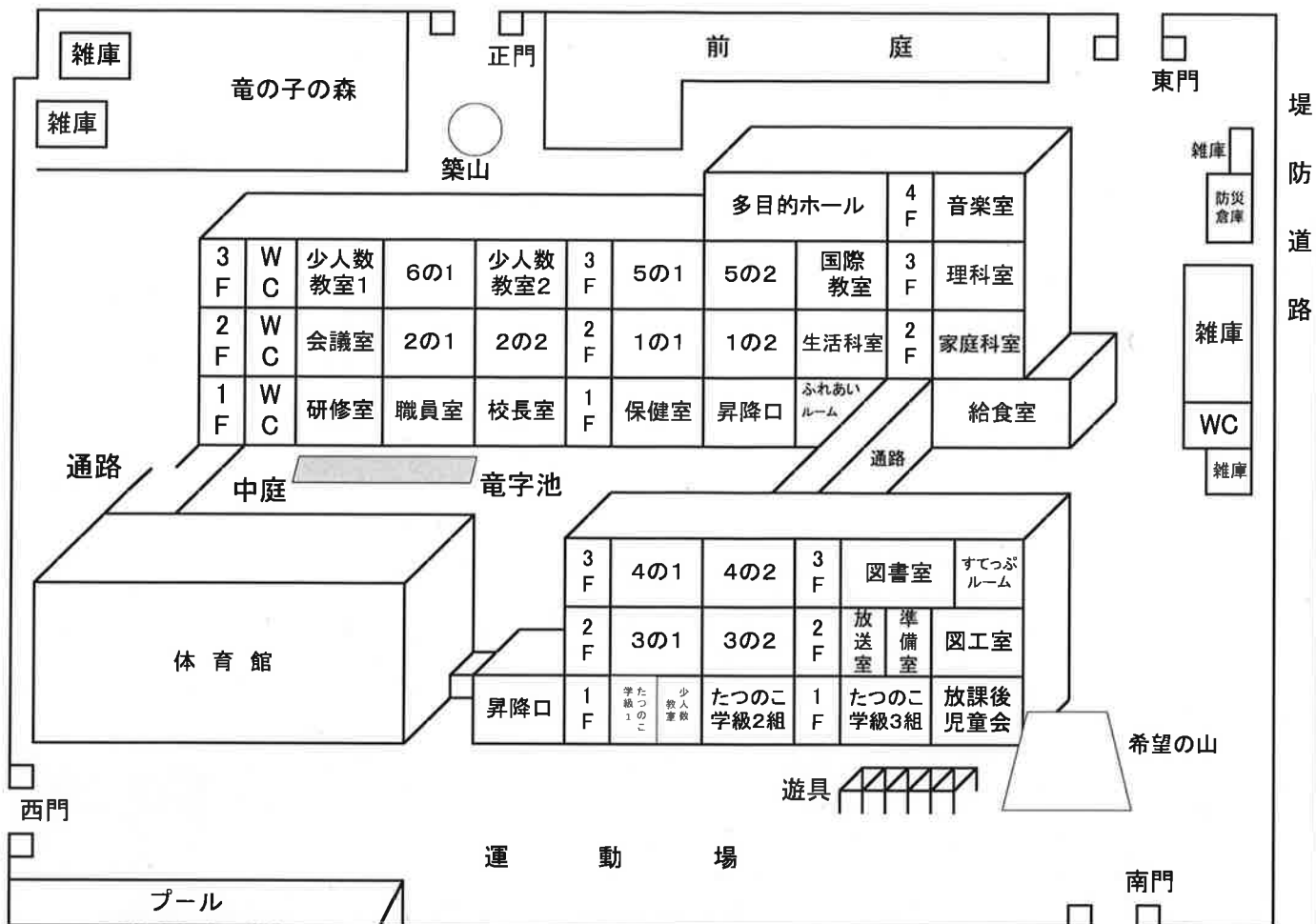
(2) 終わりの言葉

2月20日(月)時間割表

学年・組	担任名	Sタイム	朝の会	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	給食	昼休み	Lタイム	5時間目	6時間目
1年1組	幹也	8:05~8:20	8:20~8:35	8:35~9:20 算	9:30~10:15 高田	10:30~11:15 国	11:25~12:10 国	12:10~12:55	12:55~13:25	13:25~13:40 国	13:45~14:30 道	14:40~15:25 道
1年2組	菅	国	国	国	国	生	算		国	国	書	
2年1組	徳田	国	国	国	体	算	音		国	国	学	
2年2組	橋本	国	国	国	幹也	体	道		国	国	書	
3年1組	木賀	算	算	国	算	坂口	算		国	国	井	
3年2組	今田	国	国	国	音	書	音		算	算	松	
4年1組	近藤	国	国	国	今田	図	体		算	算	井	
4年2組	尚子	国	国	国	体	社	体		算	算	松	
5年1組	広瀬	国	国	算	国	家	学		算	算	松	
5年2組	坂口	国	国	算	家	家	道		外	外	松	
6年1組	藤沼	国	国	算	算	音	道		外	外	松	
たつのこ1	幹恵	国	国	自	算	社	道		国	国	井	
たつのこ2	塩崎	国	国	学	算	国	音		外	外	松	
たつのこ3	木根	自	国	国	算	理	社		外	外	松	
国際教室	小名木			算	算	算	算				井	

※基本的に授業は担任が行いますが、教科によっては教科名の下に書いてある職員が担当します。
 ※Sタイム、Lタイムとは、短時間で行う学習です。
 ※出張等により授業内容が変更になるところがあります。

校舎・教室配置図



職員組織

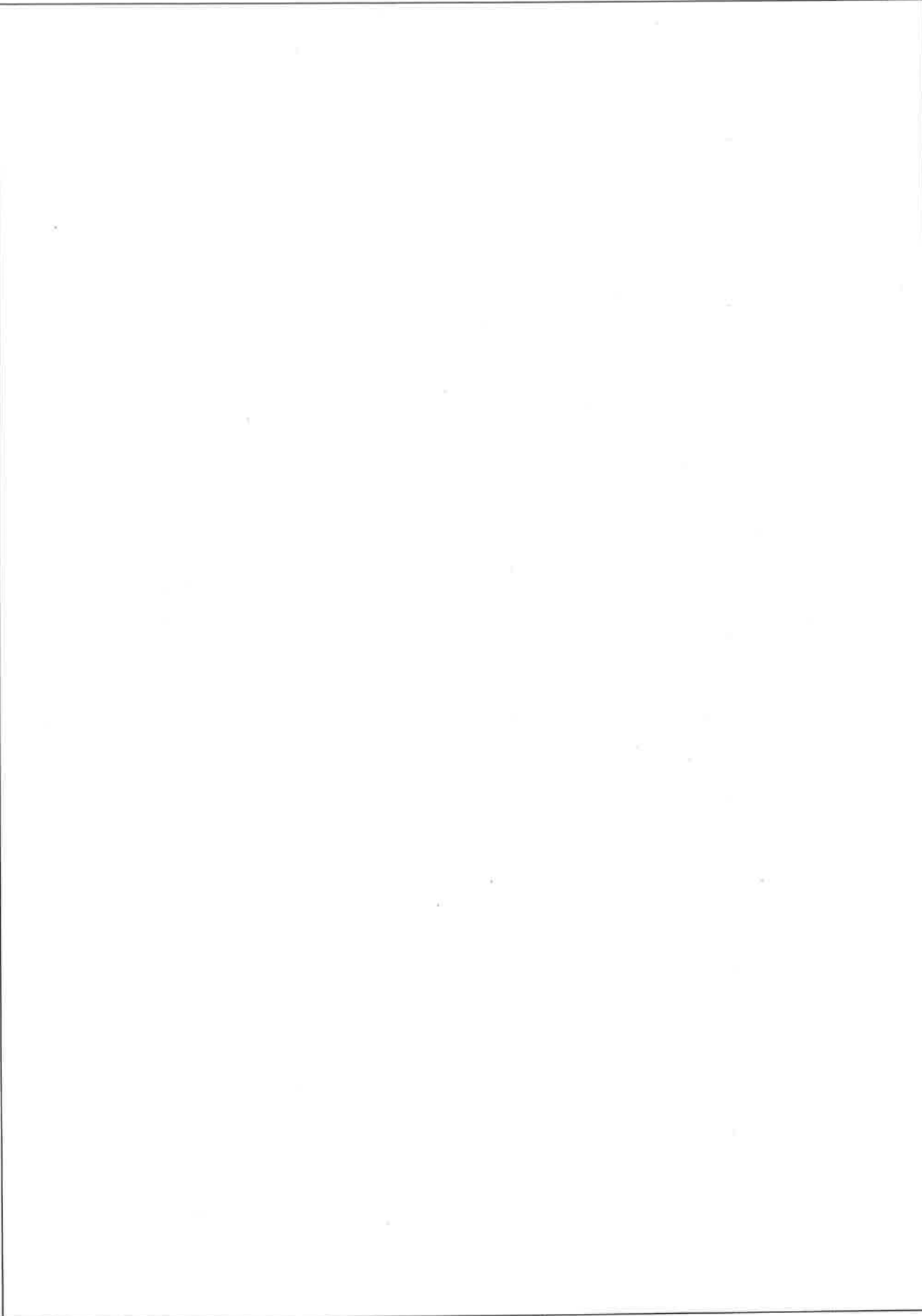
校長	水野 敦司
教頭	佐々木和也
教務主任	松井 康子
研修主任	鈴木 尚子
生徒指導主任	今田 法恵
発達支援教育 コーディネーター	北島 範子
道徳教育推進教師	徳田 真里
特別活動主任	藤沼 頼一
キャリア教育推進委員	近藤 仁志
情報教育推進員	鈴木 幹恵
学校防災リーダー	木根 道男
外国人児童指導	小名木克之 山下 聡子
養護教諭	北島 範子
事務職員	鈴木 望
給食員	鈴木 千尋 谷中理 眞子
用務員	伊堂 勇一 杉本 鉄次

学年・学級編制及び児童数

R5.1.5 現在

1年					2年							
組	担任	男子	女子	計	組	担任	男子	女子	計			
1	井口 幹也	16	13	29	1	徳田 真里	14	11	25			
2	菅 麻美	14	16	30	2	橋本 幸蔵	14	11	25			
学年合計		30	29	59	学年合計		28	22	50			
3年					4年							
1	木賀 峻人	13	14	27	1	近藤 仁志	16	11	27			
2	今田 法恵	13	15	28	2	鈴木 尚子	16	12	28			
学年合計		26	29	55	学年合計		32	23	55			
5年					6年							
1	広瀬サユリ	13	13	26	1	藤沼 頼一	21	20	41			
2	坂口 陽介	12	13	25					0			
学年合計		25	26	51	学年合計		21	20	41			
発達学級												
たつのこ1	鈴木 幹恵	6	1	7	たつのこ3	木根 道男	6	1	7			
たつのこ2	塩崎 弘治	5	2	7	たつのこ合計		17	4	21			
級外: 松井康子、小名木克之 増田千寿乃							全校			179	153	332
初任研 後補充等	池谷 裕之	外国人児童生徒 就学支援員	発達支援教育 充実非常勤	小規模小学校 支援員	スクール ヘルパー	発達支援 教室支援員	学習支援員	理科支援員	図書館補助員	パート給食員	校務アシスタント	ALT
宮川 恵	立石 侑理	久野 裕子	大力 典子	鈴木 真代	三浦千佳代	田中 保美	中村 麻恵	西田 澄恵 三好 明美	伊藤 リカ	ロリ・マルテル		

校内参観メモ



第4回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

委員	寺田 成一(てらだしげかず)
委員	松本 直己(まつもとなおき)
委員	鈴木 里枝(すずきりえ)
委員	新井 和美(あらいかずよし)
委員	加藤 京子(かとうきょうこ)
委員	安間 雄一(あんまゆういち)
委員	鈴木 邦明(すずきくにあき)
委員	高須 道男(たかすみちお)
委員	石川裕一郎(いしかわゆういちろう)
委員	倉重 建朗(くらしげたけお)

学校

校長	水野敦司(みずのあつし)
教頭	佐々木和也(ささきかずや)
教務主任	松井 康子(まついやすこ)
CS担当教職員	塩崎 弘治(しおざきひろじ)
CSディレクター	伊藤 リカ(いとうりか)

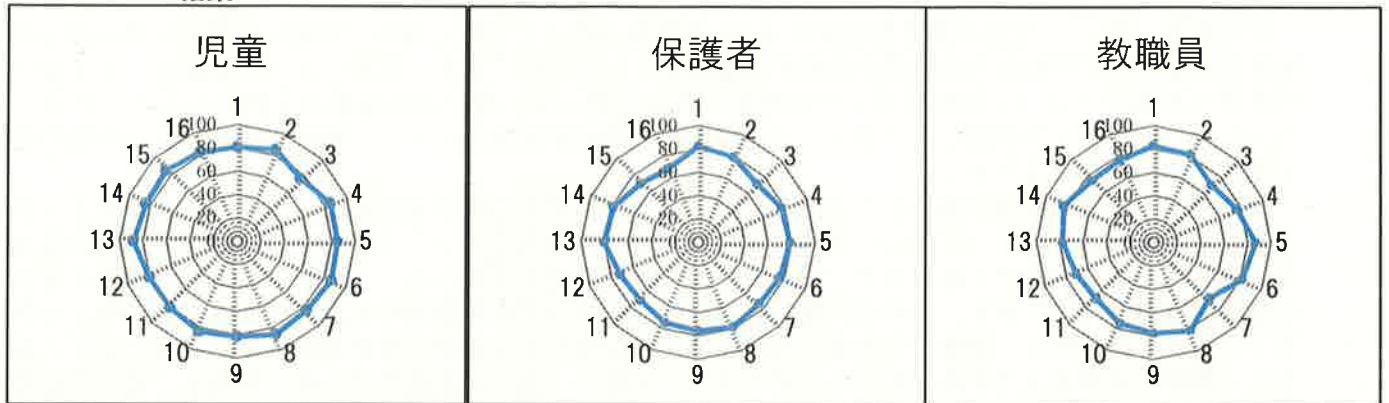
浜松市教育委員会

教育総務課	山本美世絵
-------	-------

令和5年2月13日
浜松市立竜禪寺小学校

令和4年度学校の教育活動に関する振り返りアンケートの結果について

1 アンケート結果



「子供たちに育てたい能力の育成指標」のアンケート項目

仲間をつくろう (人間関係形成・社会形成能力)	自分を高めよう (自己理解・自己管理能力)	問題を解決しよう (課題対応能力)	夢に近付こう (キャリアプランニング能力)
1 他者の個性を理解する力	5 自己の役割の理解	9 情報の理解・選択・処理	13 学ぶこと・働くことの目的や意義の理解
2 コミュニケーションスキル	6 自己の動機付け	10 課題発見	14 生き方の多様性の理解
3 リーダーシップ	7 忍耐力	11 計画立案	15 将来設計1 (見通し)
4 協調性・協力性	8 主体的行動	12 実行力	16 将来設計2 (実践)

※太字は令和4年度の重点項目

2 考察

児童全体では、それぞれの項目において75～88%程度達成していることが分かり、学校生活において、育まれるべき資質・能力を身に付けてきたという満足感が表れているものと思われます。特に、本年度の重点項目である「6 自己の動機付け」や「13 学ぶこと・働くことの目的・意義の理解」では、3年間高い数値を維持しています。これは、児童が、育成指標「〇年生のみんなに頑張ってもらいたい目当て」を基に目標に掲げている内容を捉え、自分の到達イメージを持って学習に取り組んだり生活したりしてきた成果であると考えます。昨年度まで高学年のみで児童の達成度として高い数値が出にくかった「15 将来設計1 (見通し)」「16 将来設計2 (実践)」について、低・中学年に指標を追加し取り組んだところ、ほとんどの学年で昨年の数値を上回り、児童全体では6～8%上がりました。低・中学年の児童も指標の内容を捉え、キャリアプランニング能力を高めることができたと考えます。また、保護者の数値は、全16項目において昨年度の数値より2～10%上がりました。お子さんの学校での取組の様子を参観会や行事で見ていただいたり、便りやキャリア・カウンセリング、キャリア・パスポート等でお伝えしたりしたことが高評価につながったのではないかと推測されます。また、昨年度までは、実家庭の保護者に中学年の指標を基にしてアンケートを実施していましたが、本年度は、お子さんごとにお子さんの学年の指標を基にして実施したことによって、達成度の判断がしやすくなり、お子さんの頑張りが数値となって表れたのではないかと考えます。引き続き、お子さんの学校での取組の様子を具体的に伝えていく必要があると考えています。

一方で、「3 リーダーシップ」は、昨年度と同様、児童と保護者、教職員ともに、数値が低い結果となりました。新型コロナウイルス感染症予防を念頭に置き、方法を検討して可能な範囲内で他者との交流活動を実施しましたが、リーダーシップの力を発揮することができたという実感を持つことが難しかったのではないかと推測されます。今後も引き続き、新しい生活様式の中で、方法や方策を十分に検討して教育活動を設定し、他者との関係の中で、児童が人間関係形成・社会形成能力の高まりを実感できるようにすることが大切だと思います。「7 忍耐力」についても児童と保護者、教職員ともに、数値が低い結果となりました。「6 自己の動機付け」の成果として自分の目標を設定することはできても、それに向かって最後まで努力したり自分の取組を粘り強く修正・改善したりすることには、課題があると捉えている実態が明らかになりました。

3 学校関係者評価

4 今後の教育活動について

今回の振り返りアンケートの結果を基にして、本校の教育目標「夢を持ち ともに輝く」を実現するための今後の教育活動について検討し、来年度の重点項目を以下のように定め、改善を図りたいと思います。

(1) 仲間をつくらう（人間関係形成・社会形成能力）

○「仲2」 コミュニケーションスキル

本年度は、「仲1」他者の個性を理解する力を重点項目として取り組み、学期に1回ペア学年交流の活動を設定したり、可能な方法で交流活動を実施したりしました。また、児童一人一人を認め、より良い関係を築くためにドラゴン賞を活用した教職員による児童の良い行いの称揚を年2回から通年に変更して行ったり、児童同士で記述した「良いこと見付け」の用紙を道徳コーナーに掲示したりして、他者の個性を理解する力を高めてきました。

来年度は、児童が友達の良いところを見付けられるようになった力を生かし、多くの人とコミュニケーションをとれるようになってほしいと考えました。そこで、「仲2」コミュニケーションスキル」を重点として取り組んでいきたいと思っています。授業では、目的や方法を明確に示し、必要感を持って考えを交流する活動を設定していきます。今年度同様、学期に1回のペア交流を継続するとともに、各種行事でも学年団での活動に組み込み、授業でも異学年児童を伝える相手とする言語活動を設定していきたいと思っています。また、教師と児童同士がそれぞれ行ってきたドラゴン賞と「良いこと見付け」を一本化し、見付けた児童の良い行いについて称揚する言葉をカードに記入し、直接言葉掛けしながら渡す方法に形を変えて取り組んでいきたいと思っています。

(2) 自分を高めよう（自己理解・自己管理能力）

○「自3」 忍耐力

本年度は、「自2」自己の動機付け」を重点項目として取り組んできました。文章表現を修正・改善した育成指標を基にオリエンテーションにおいて1年後になりたい自分の姿を思い描き、その姿に近付くために生活の目当てやキャリア・パスポートを活用しながら見通し、振り返る活動を繰り返してきました。その結果、アンケートの児童の数値は、3年連続で約87%となり、自己の動機付けの力の高まりを感じています。

アンケート結果から、自分の目標を設定することはできても、自分の取組を修正したり工夫したりして粘り強く改善することには、児童と保護者、教職員ともに課題があると捉えていることが分かりました。そこで、来年度は、「自3」忍耐力」を重点として取り組んでいきたいと思っています。これまでも行ってきた見通し、振り返る活動の中で、日常的な振り返りを組み込み、自分の目標や取組を見つめ今後の取組方を見通したり、最後まで粘り強く取り組むための方法を教師と共に考え明確にして実行したりしていけるようにしたいと思います。また、やり遂げたことを価値付けたり認めたりすることができる場を確保し、次も修正・改善しながら粘り強く取り組もうとする意欲を高めたいと思っています。

(3) 問題を解決しよう（課題対応能力）

○「問1」 情報の理解・選択・処理

本年度は、「問1」情報の理解・選択・処理」を重点項目として取り組んできました。授業では、情報を精査して考えを形成する学びが実現できるように授業改善に取り組んできました。また、一人一台のタブレット端末を効果的に活用できるように環境整備を進め、学びの充実を図ってきました。タブレットを活用した学習についての児童のアンケート結果の数値が約93%であり、高い達成感を味わっていることが分かりました。

そこで、来年度も引き続き同項目を重点として取り組んでいきたいと思っています。情報の理解・選択・処理の力が児童に身に付くように、情報教育全体計画や各学年の年間指導計画の修正・改善・共通理解を図ったり、効果的な活用法の研修を実施したりして、児童のICT活用を支える教員の指導力の向上に取り組んでいくとともに、ICT環境整備をさらに進めていきたいと思っています。

(4) 夢に近付こう（キャリアプランニング能力）

○「夢2」 生き方の多様性の理解

本年度は、「夢1」学ぶこと・働くことの意味・意義の理解」を重点項目として取り組んできました。授業では、身に付ける力を明確にして到達イメージや学習に対する目的を持てるようにしました。また、学習内容について、今取り組んでいる学習が何につながり、それが将来の自分にどうつながっていくのかを児童が明確にできるように意識して教育活動に取り組んできました。その結果、振り返りアンケートの児童の数値は、昨年度から引き続き本年度も16の項目の中で最も高く、約88%となり、児童のキャリアプランニング能力の高まりを実感しています。

来年度は、「夢2」生き方の多様性の理解」を重点項目とし、「仲2」コミュニケーションスキル」の育成と関わらせ、毎日の学校生活や授業を通して児童がいろいろな他者とコミュニケーションをとりながら、様々な考え方や取組方があることを受け止め、理解し、認め、広い視野を持って共に生きていけるようにしていきたいと思っています。そのために、学級活動や学校行事等の特別活動では、互いの長所や個性、多様な考えを認め合い、等しく合意形成に関わり役割を担うようにすることを重視し、活動を設定していきたいと思っています。また、生活科や総合的な学習の時間、特別活動等における体験活動の機会を確保し、地域・家庭と連携・協働して多様な他者と協働することの重要性を実感しながら理解できるようにしていきたいと思っています。



令和5年度 浜松市立竜禅寺小学校

学校経営方針（案）

1 子供たちを取り巻く現状

(1) 本校の歴史を振り返って

- 大正14年（1925年）2月、浜松南尋常高等小学校分教場として新設、2か月後浜松龍禅寺尋常小学校として独立、来年度が100周年、記念の活動や行事等の準備を進める予定である。
- 11年間、国語科を窓口としての「学び合う学び」についての研究、授業公開を継続、平成30年度からは、キャリア教育に重点を置き、窓口教科を広げ「基礎的・汎用的能力から見た学びの在り方～つながりを意識した教育課程と学び合う学び～」をテーマに研究発表会を実施した。令和2年度より学校運営協議会を設置、コミュニティ・スクールとしてスタートした。本年度は、ここまでのカリキュラムマネジメントの在り方を基に「基礎的・汎用的能力」と「主体的・対話的で深い学び」・教科指導との関連や在り方についての研究の成果を生かし、付きたい力の1年間のつながりや6年間の系統等の研修を進めようとしている。

(2) 子供たちの様子

- 明るく元気で素直、好奇心旺盛で元気である。
- 目標設定はできるようになってきているが、目標に向かって努力をし続けたり、苦しさを乗り越えてやり遂げたりするたくましさの欠如が見られる。
- 「育成指標」の配付、活用の働き掛けによって、目指す姿の意識の向上を図っている。

※「〇年生のがんばりたいめあて」

- ・「キャリア教育年間指導計画」を掲示し、子供たち自身が見通しを立て活動を実施する。
- ・学習・活動後の振り返りの充実を図る。

(3) 保護者の願い

- コロナ感染症対応の中でも「できることをできるように行う」ことを基本に令和3年度より4年度と段階を踏んで可能な限り学校行事等を実施した。→子供たちの学習や生活の姿を目で見て確かめる機会が少しずつ増えた。
- 2学期の振り返りアンケートの結果として、「コロナ禍の中、よく考えてやってくれている」や「こういう状況だからこそ、さらに考えてやってほしい」という両方の意見があった。
- 「育成指標」について
 - ・ 「仲間をつくろう」（83%）、「課題を解決しよう」（76%）、「夢に近づこう」（81%）の3項目について、本年度の重点が、アンケートの結果として各項目の中で一番評価が高くなっていた。取り組んできていることが伝わり、子供の成長を感じることができたとともに共通理解のもと連携が進んだのではないかととらえることができた。

(4) 南部中学校区の目指す子供の姿

「思いやりをもち、きまりを守る子」

2 これからの学校に求められる取り組み

(1) 様々な関わりの中で

新指導要領でも、また「令和の日本型学校教育」に示されていることの中でも、個への認識と他との協働、個の充実と多様性への対応が示されている。

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」をキャリア教育、ICTの活用（プログラミング学習）、「社会に開かれた教育課程」「カリキュラムマネジメント」と「主体的・対話的で深い学び」、可能な範囲での「高学年教科担任制」との関連の中で進めていく必要がある。

(2) はままつ人づくり未来プラン

- 第3次浜松市教育総合計画（後期）～「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」・・・「自分らしさを大切にすること」「夢と希望を持ち続ける子供」「これから社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」を目指すことは継続する。
- 「キャリア教育を核とした人づくりの推進」、「教育の情報化」、「コミュニティ・スクールの推進」は変わりなく重点として進める。

3 学校教育目標

「夢を持ち ともに輝く」

子供たち一人一人が、夢と希望を持って、仲間と励まし合ったり助け合ったりしながら、自分で考えて諦めないで粘り強く挑戦してほしい。そして、その中で生きていくために必要な資質・能力を育むとともに、自分らしさを磨き、だれかの役に立っていることの喜び（自己有用感）を感じながら生きていくことができる人になってほしい。（主体的な共存共栄）

4 学校教育目標具現のための視点

- 平成30年度より、「知」「徳」「体」の視点に加え、教科・領域を横断して育まれるべき4つの資質能力（浜松市が推進するキャリア教育における基礎的・汎用的能力）を通して全教育活動を見直した。
- 令和5年度も継続していく・・・全ての教育活動を通して竜禅寺小学校で育成する能力を具体項目として目指す子供の姿を明確にする。

5 目指す子供の姿

- ・ 「仲間をつくろう」・・・多くの機会を通じて、友達の良いところを見付られるようになった。良さを伝え、活動の中で生かすことができるようになっていきたい。
- ・ 「自分を高めよう」・・・その場や状況に合わせて目標設定ができるようになってきている。設定はできるが、調整しながら最後までやりとげることを目指していく力を付けたい。
- ・ 「問題を解決しよう」・・・さらに必要な情報の収集や整理する力をさらに伸ばしたい。
- ・ 「夢に近づこう」・・・自分たちのしていることの意義や目的は理解できている。

子供たちを取り巻く様々な環境を捉え、いろいろな考えがあり、よりよい自分や集団を目指してみんなで考えていく必要があることを学んでいきたい。
以上の子供の姿の表れから、本年度の重点について全教員で検討し変更を行った。

☆「子供たちに育てたい能力の育成指標」(別紙)

○ 本年度の重点

様々な情報に触れたり多くの人とコミュニケーションを取ったりする中で、いろいろな考え方や取り組み方を知り、受け止め、その接し方や関わり方の中で自分らしさを感じたり見付けたりする。さらに、見付けた自分らしさを生かしながら目標(夢)に向かって最後まで調整しながらやってみようとする。(挑戦し続ける)

(A) 仲間を作ろう(人間関係形成・社会形成能力)

仲2: 目的を持ち、その達成のために他者とコミュニケーションをとる。

【コミュニケーションスキル】

(B) 自分を高めよう(自己理解・自己管理能力)

自3: 自分の取組を修正したり工夫したりして粘り強く改善する。

【忍耐力】

(C) 問題を解決しよう(課題対応能力)

問1: 目的に応じて情報を収集し、その内容を選択・整理・判断して活用する。

【情報の理解・選択・処理】

(D) 夢に近付こう(キャリアプランニング能力)

夢2: いろいろな自分らしさや取組方があることを理解し、肯定的に認める。

【生き方の多様性の理解】

6 令和5年度の重点

(1) 社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント

- 「子供たちに育てたい能力の育成指標」を重点に据えた指導を継続する。～職員、児童、保護者、地域へ配付し、さらに連携を図る。(子供像や教育活動の内容を共有する。)

(2) キャリア教育の推進

- 「自分と他者との関係の中で自分を高める」～子供の未来の姿を思い描きながら「子供たちに育てたい能力の育成指標」を基に付けたい力を明確にして取り組む。
- キャリア教育の先行研究の実績を生かし、さらに実践を積み上げ、成果を情報発信する。
- 「キャリア教育年間指導計画」の修正・改善を進める。～活動や教科指導とのつながり、他の学年とのつながりを深める。
- 見通し(めあて)を持たせるオリエンテーション(4月)・ガイダンス、日常的な振り返りとキャリア・パスポートへの記録、学年の振り返りとしての整理(3月)などを計画的に実施する。～キャリア・パスポートの内容と子供の意識のつなげ方、内容、選択方法、学年間の各活動や教科指導とのつながり等の整理と共通理解を進める。

- (3) 校内研修の充実を図る。
- 目指す子供の姿を明確にし、「つながり」（それぞれの活動と活動や教科指導との関連を捉えること）の中で育てる指導を行うことができるようにする。年間指導計画の充実、キャリア・パスポートの内容と子供の意識のつなげ方の検討、内容、選択方法、学年間のつながり等の整理と共通理解等を進める。
 - 小中の連携（南部中学校区小中合同研修会）の充実を図る。～学校間の連絡を密にする。夏季休業中の合同研修会を実施する。
- (4) 教育の情報化
- 情報教育の明確な位置付けを進める。
 - プログラミング学習、マナーや SNS 使用に潜むリスク等の指導、その他活動内容の改善を行う。
 - 授業や行事における情報機器の積極的な活用を進める。
 - タブレット PC の日常的な使用や遠隔でのやり取りの効果的な活用を模索していく。（学校外での利用も含む）さらに、管理の確実性と環境整備もあわせて進める。
- (5) 発達支援教育・外国人児童（帰国児童）対応等の教育の充実
- 全職員が着実に関わる。
- (6) 児童・教職員の健康安全
- 新型コロナウイルス感染症への対応を図る。（形を変えながらの指導、注意喚起を図る。）
 - 令和元年度末から、新型コロナウイルスへの対応（感染予防のため）としての様々な見直し（教育課程の変更）を含め本当のあるべき形を求める。
※ 子供たち一人一人が十分に自己有用感を高めていくことができるよう、目指すところはぶれることなく進める。
 - 教職員の健康維持に関して、お互いに声を掛け合いながら、安心感を大切にす
- (7) いじめへの適切な対応を進める。
- 素早い対策委員会の実施、全職員による認知からのスタート、一人一人に寄り添った対応を行う。
- (8) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実
- ※ 運営協議会 3 年が終わり、本年度より新しい委員の方々が加わることになる。
 - 活動の具体的な展開（継続、学校で必要とすることをしっかり伝える）
- (9) 働き方改革
- 新型コロナウイルスへの感染予防を含め、児童とともに職員の安全と安心を優先する。
 - 勤務時間を意識した仕事内容の効率化を図る。
 - 教職員一人一人が力量を高める時間（研修の時間）を確保する。
 - 会議の内容、実施方法（時間、参加者）等を工夫する。
- (10) その他
- 創立 100 周年に向けて、子供たちにとって意義ある活動や行事等、保護者や地域とともに考え、「皆で竜禅寺の子を育ててきたこと、また今後も育てていくこと」を計画の中に据えて進めていくようにする。

未来創造への人づくり

【はままつの人づくり】

【学校経営目標】

夢を持ち、ともに輝く

確かな学力

豊かな心

健やかな体

子供たちに育てたい能力の育成指標 (他者との関係の中で自分を高める竜禅寺の子)

重点項目

仲間をつくろう (人間関係形成・社会形成)
目的を持ち、その達成のために他者とコミュニケーションをとる。 【仲2】

自分を高めよう (自己理解・自己管理)
自分の取組を修正したり工夫したりして粘り強く改善する。 【自3】

問題を解決しよう (課題対応)
目的に応じて情報を収集し、その内容を選択・整理・判断して活用する。 【問1】

夢に近付こう (キャリアプランニング)
いろいろな自分らしさや取組方があることを理解し、肯定的に認める。 【夢2】

具体的な取組

- 社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメントの実践の充実
～「子供たちに育てたい育成指標」を重点に据えた指導
- キャリア教育の推進 (年間指導計画、教科指導との関連、キャリアパスポート等)
～つながりを捉えた指導の充実
- 校内研修の充実 (目指す子供の姿を明確に描き、活動の関連を捉えた指導)
《つながり》の中で育てる指導・・・「他者との関係の中で自分を高める子」の育成
～基礎的・汎用的能力のつながりを意識した教育活動を通して～
- 情報教育の位置付けの明確化 (ICT教育の充実、教育活動における活用)
- 発達支援教育、外国人児童 (帰国児童) 対応等の教育の充実
- 児童・教職員の健康・安全対策
- いじめへの対応 (対策委員会の実施、全職員での認知からのスタート、一人一人に寄り添った対応)

- PTA活動 ○ 参観会 ○ 教育相談
- 地域のひと・もの・こと
← 体験・支援
- 保幼小の連携
- 小中一貫教育

○ 創立100周年に向けて

南部中学校区 目指す子供像
思いやりを持ち、きまりを守る

深い愛情を注ぎ、認め、成長を支える家庭

温かく見守り、声を掛け、
学びを支える地域

学校運営協議会の充実
(コミュニティ・スクール4年)

市民協働による人づくり

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(竜禅寺小) 学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校側の丁寧な説明があり基本方針を理解することができた。また、方針について様々な視点から話し合うことができた。
- ・協議会と学校の意見がよくかみ合っていた。過去のことも考えていたからだと思う。
- ・実践紹介や参観会などで、各学年が基本方針や育成指標に則り、課題を踏まえつつ丁寧に授業や運動会などの行事が行われていることが理解できた。その上で、指示意見や質疑など活発な熟議ができた。一方で、このような教育活動と協議会との接点が、今だに不十分であると感じる。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・学校側の要望について具体的な支援策を熟議することができた。その他の項目についても、各委員が積極的に発言し熟議を進めることができた。
- ・協議会委員が各所に連絡を行うことができていて良かった。
- ・職員の半分が異動になる中、各学年が育成指標を意識しながら学習活動を進めていることが分かり、教育活動の成果について活発な熟議ができた。
- ・協議会の熟議を受け、昨年度よりも活動が進んだ。
- ・協議会にとっては、学校の目標や抱える課題を地域がいかに共有し、活動に取り組むことができるかということが課題である。地域と学校との接点をどのように組み立て具体的に実践していくことが協議会の役割であると考えている。この点の具体的な熟議が足りなかった。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・本年度に始めることができた活動を継続しつつ新たな支援を始められたら良い。
- ・コロナ感染症の蔓延に伴い委員が学校を訪れその様子を知る機会が減少してしまった。児童の実態を知ることが大切である。
- ・協議会の役割について委員が正しく理解し、その目標を明確にしていく必要がある。
- ・コロナの終息が見通せない中での学校運営を深掘して取り組むことが必要である。

その他、運営協議会に対する御意見がございましたら、御記入ください。

- ・CSの先進的な事例を参考にし、本校の個性のある協議会の姿を委員の間で共有していきたい。
- ・様々な国籍の保護者が在籍する中で、細かな点まで同様に全体として学校経営を進めていくことは大変だと思うが、よく前に進んでいると感心する。
- ・コロナのために委員と学校と離れがちであったので、よりふれあえる工夫が必要だと思う。
- ・教職員との話し合いをもっと進めたい。CSだよりは地域にも活動が周知され良い取組であった。

(様式1)

令和4年4月28日

浜松市立竜禅寺小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 倉重 建朗 様

浜松市立竜禅寺小学校運営協議会
会長 石川裕一郎

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和4年4月28日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

キャリア教育を推進してくために、外部の人材を活用して教育活動を進めてほしい。生き方教育に係る学習の取組の記録を蓄積も続けてほしい。

また、教育の情報化を一層推進してくために情報機器の積極的な活用に資するための用品の購入も進めてもらいたい。

さらに、児童の読書教育を進めるために、読み聞かせ用の本を充実させてほしい。

令和5年2月20日

浜松市立竜禅寺小学校
学校運営協議会委員 様

浜松市立竜禅寺小学校
校長 水野 敦司

授令和4年度卒業証書授与式について（お知らせ）

残寒の候、皆様にますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動につきまして御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度第98回卒業証書授与式を下記のとおり挙行いたします。つきましては、公私ともに御多用中とは存じますが、是非とも御臨席くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1 日 時 令和5年3月17日（金）午前9時から午前10時20分
※受付 8:15～8:30

2 式 場 浜松市立竜禅寺小学校体育館

- 3 その他
- ・御来校の際は、以前お渡しした「名札」を身に付けてきてください。
 - ・北校舎正面玄関にある受付をお通りください。
 - ・感染症対策として、マスクの着用をお願いいたします。また、体調の悪い方は御参観をお控えください。
 - ・運営協議会は開催いたしません。卒業証書授与式への参列のみです。
 - ・御都合のお悪い方は、下記までお早めに御連絡をお願いいたします。

担当	教頭	佐々木和也
電話	452-0683	
FAX	452-0022	

令和5～7年度 浜松市立竜禅寺小学校運営協議会委員(予定)

番号	氏名	ふりがな	肩書①	肩書②
1	寺田 成一	てらだ しげかず	元北本町自治会長	
2	松本 直己	まつもと なおき	元寺島町自治会長	
3	新井 和美	あらい かずよし	元PTA会長	アライデザイン工芸社長
4	加藤 京子	かとう きょうこ	スクールガードボランティア	
5	高須 道男	たかす みちお	竜禅寺FC代表	
6	柳川 春彦	やながわ はるひこ	主任児童委員	
7	鈴木 宏幸	すずき ひろゆき	スクールガードボランティア	
8	倉重 建朗	くらしげ たけお	令和4年度PTA会長	令和5年度PTA顧問
9	北井 実香	きたい みか	令和4年度PTA副会長	令和5年度PTA会長
10				

竜禅寺小

学校運営協議会 年間開催計画

記入者： 佐々木和也		提出日： 2023/2/20	
	開催日	開始時刻	終了時刻
第1回	2023/4/28(金)	15:00	16:30
第2回	2023/7/10(月)	15:00	16:30
第3回	2023/11/17(金)	15:00	16:30
第4回	2024/2/20(火)	15:00	16:30
第5回			
第6回			

※開催の目安は年4回です。

※第1回は必ずすべて記載、第2回以降は未定の場合、開催月のみ記載してください。

※提出後、変更となった場合、開催日程が確定した場合はその都度ご連絡ください。

【例】〇〇小

学校運営協議会 年間開催計画

記入者： 浜松 太郎		提出日： 2022/4/8	
	開催日	開始時刻	終了時刻
第1回	2023/4/20(木)	9:00	11:00
第2回	2023/6/28(水)	15:00	17:00
第3回	11月頃	未定	
第4回	2024/2/15(木)	未定	
第5回			
第6回			

令和4年度 第3回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年12月2日（金） 15時00分から16時50分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 寺田 成一、松本 直己、鈴木 里枝、加藤 京子、安間 雄一
高須 道男、石川 裕一郎、倉重 建朗
- 4 欠席委員 新井 和美
- 5 学 校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）
塩崎 弘治（CS担当教員）

6 傍聴者 なし

7 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 各学年の実践内容について
- (3) 1学期末の学校評価と改善策について
- (4) 教育活動の充実に向けて（課題とその解決に向けて）

8 会議録作成者 塩崎

9 会議記録

委員総数10名のうち8名の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している確認をした。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について、前回協議会の終わりに倉重副会長に議長をお願いすることに満場一致で決定していた旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 各学年の実践内容について

①第4学年主任より以下のプレゼンが行われた。

【学年目標】 「レッツトライやってみよう」

自分やみんなのために、学校や地域のためになることをやってみよう。

【紹介内容】 ドラゴン運動会、宿泊訓練、授業の様子 等

【課題】 お互いの良さを認め合いながら、自分たちで活動できる子供たちにしていきたい。

【質疑】 なりたい自分とはどんな自分か。（鈴木里枝委員）

【応答】 一人一人違っているが、「自分からあいさつできる」や「友達に教えることができる」などが見られる。

②第5学年主任より以下のプレゼンが行われた。

【学年目標】 「Galaxy」

お互いのつながりを意識して自分で考えて行動しよう。

【紹介内容】 宿泊訓練、ドラゴン運動会、総合的な学習 等

【課題】 6年生を送る会に向けて自分たちの力で取り組ませていきたい。最高学

年に向けて準備を進めさせたい。

【 質疑 】 運動会や発表会では役割を自分たちで決めているのか。(松本委員)

【 応答 】 まずは、それぞれの実行委員に担任からの思いを伝え、そこで、時間をかけて自分たちで決めている。

③第6学年主任より以下のプレゼンが行われた。

【学年目標】 「龍校の光」

リーダーシップを意識して取り組もう。

【紹介内容】 修学旅行、ドラゴン発表会、キャリア・パスポートを活用した実践等

【 課題 】 6年生としての成長が見られている一方で、自己肯定感が低い児童がいて、自分のよさを認める気持ちを育てたい。

※6年生の実践に対する質疑は聞かれなかった。

③たつこの学級主任より以下のプレゼンが行われた。

【目 標】 「経験を大切に」

落ち着いて取り組もう。

【紹介内容】 修学旅行及び各学年の行事、普段の学習の様子等

【 課題 】 自己肯定感が低い児童がいる。自身の特性を知り自分のよさを認める気持ちを育てたい。

【 質疑 】 自己肯定感を高める指導は難しいと思う。たつこの子供たちが、いろいろな児童、人々とふれあうことが大切だと思う。(鈴木里枝委員)

【 応答 】 たつこの児童一人一人が自己肯定感を高めることができるよう、交流を含め今後も指導を充実させたい。。

(3) 1学期末の学校評価と改善策について

教務主任より1学期末の学校評価について以下のような説明があった。

・児童の結果からは、子供たちの頑張りがうかがえ子供たちなりに評価ができていること分かる。

・育成指標のうち、仲1は児童の評価が低い。取り組みを改善するようにしている。児童が自分のよさを実感できるような支援をしていきたい。

・保護者の数値はほとんどが上がった。学校での表れを保護者にさまざまな方法で伝えるようにした結果だと感じている。今後も教育活動の狙いを保護者に伝えていきたい。

委員は一様に結果、考察に関して納得・満足していたようであり、質問事項はなかった。

(4) 教育活動の充実に向けて(課題とその解決に向けて)

○発表会のときのマスクが気になった。楽器演奏のときには外してもよかったのではないか。児童の大切な思い出として、そのあたりも考慮してもらいたい。(加藤委員)

○浜松市の感染状況に大きな改善が見られなかったので、今回はこのようにした。今後も感染状況を見て対処していきたい。(校長)

○学校が普段から課題と感じていることはないか。(議長)

○児童には、自分で考えることやみんなで考えることを常々話している。来年度に向けての方針を考えていきたい。(校長)

10 報告事項

寺田委員より落ち葉拾いについて、教頭より図書ボランティアについての活動報告があった。

11 次回の熟議テーマについて

教頭から以下のような次回（2月20日）の熟議テーマの連絡があった。

○2学期末の学校評価の結果、成果と課題、改善策

○来年度の学校経営方針

○学校評価者評価

○学校運営委員会自己評価

○夢育やらまいか事業、CS加算分報告

○委員の任期について

委員から質疑等はなかった。